

令和4年2月

関係各位

古川支援学校
校長 山内 尚

学校評価のためのアンケートについて

日頃より、本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和3年度学校評価アンケートの結果を下記のようにまとめましたのでお知らせいたします。

今後も全職員で、本校の教育目標「児童生徒一人一人の特性や発達段階に合わせた教育を行い、自立や社会参加をめざして、人との関わりを大切にしながら、健康で心豊かな児童生徒を育成する」に向けて、児童生徒のために力を合わせてまいりますので、変わらぬご理解とご支援をお願いいたします。

記

1 アンケート項目及び実施方法の改訂について

今年度、学校評価のアンケート項目を見直しました。学校教育目標の具体目標(目指す生徒像)が昨年度から四つに集約され、具体目標を基に、さらに各分掌部の計画を見直して児童生徒の教育活動に還元していきたいとの理由からです。

具体的には、本校の「本年度の努力点」に沿った形で質問項目を精選しました。質問項目は、教職員アンケートは22問と自由記述欄、保護者アンケートは14問と自由記述欄としました。

実施方法は、今年度からWEBアンケートとしました。回答がまとめやすくなり、業務の効率化につながっています。回収率は、教職員アンケート100%、保護者アンケートは連絡メールに登録している保護者がそれぞれ回答したのも有効とすると92.3%(167/181名)でかなりよい結果となりました。また、教職員も保護者も記名式アンケートとしました。これは、より責任ある回答と具体的な解決策の提案につながっていくと期待したものです。

2 アンケート結果の全体的傾向について

評価段階を4段階に設定しました。「そう思う」「ややそう思う」が肯定的評価ととらえると、以下のようになります。

	肯定的評価(80%以上)
教職員アンケート	19/22項目
保護者アンケート	12/14項目

ほとんどの項目でよい評価となっており、保護者の皆様に、学校の取組について満足いただいていると考えます。一方、肯定的評価(80%以上)に届かなかった項目は、「交流及び共同学習」「施設設備等」の2つでした。

1つ目は、設問11「交流及び共同学習」です。肯定的評価79%と8割を切る低めの数字になっています。これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、直接交流ができず、全て間接交流での実施となったからであると考えられます。教職員アンケートと同じ傾向が出ています。

2つ目は、設問14「施設整備等」に関するもので、肯定的評価は69%でした。特筆すべきは、否定的評価27%であり、教職員アンケート(16%)と比べても高くなっています。

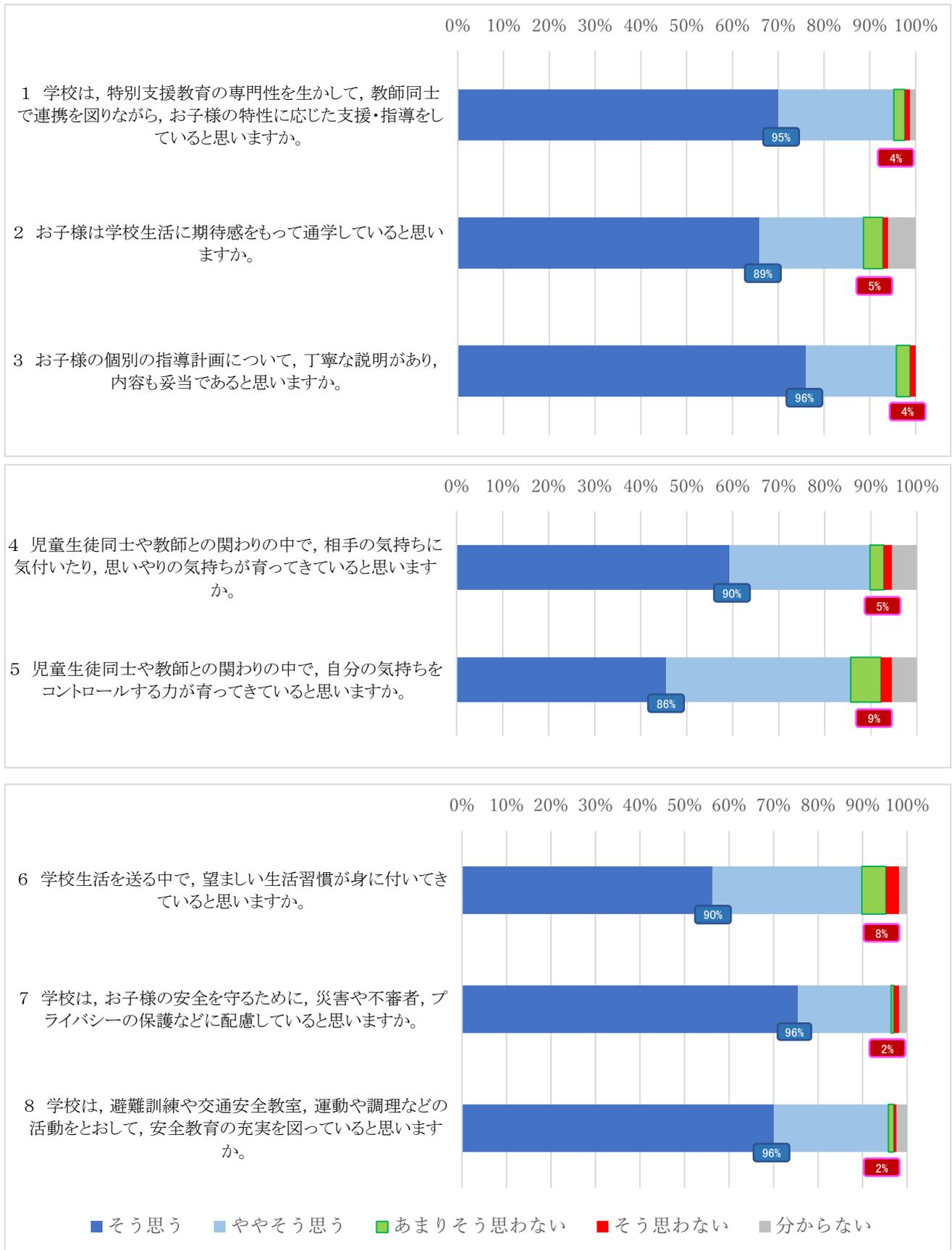
教室が足りず、県立特別支援学校の学級編制基準である1学級6名を上回っている学級があります。また、本校PTAの会議は、向かいの志田地区公民館を借用して行っています。

本校PTAで署名活動として取り組んでいた特別支援学校設置基準が、令和3年9月に公布され、総則及び学科に係る規定については令和4年4月から、編制並びに施設及び設備に係る規定については令和5年4月から施行されます。設置基準は、在籍者数の増加により慢性的な教室不足が続いている特別支援学校の教育環境を改善する観点から制定するもので、特別支援学校を設置するために必要な最低限の基準とするものです。

このようなよいニュースがある一方、本校は、教室やプレールームの不足、図書室がないなど、現状はまだまだ厳しいのが実状です。児童生徒の安全な教育活動を第一とし、着実な整備を進めていきたいと考えます。

(別紙1)

学校評価のための保護者アンケート(1-8) 1/2



学校評価のための保護者アンケート(9-14) 2/2

